

環境負荷軽減型持続的生産支援事業  
【エコ畜事業】

よくある質問集

令和6年度版（ver1.0）

**I 事業参加者****【参加要件】**

- 問1 自然災害等により、事業年度内に一時的に生乳を出荷していない期間がある場合でも、交付金交付の対象となりますか。 … 生乳出荷要件
- 問2 経営の相続や移譲を行った場合、引き続き事業参加はできますか。 … 経営相続
- 問3 経営の相続や移譲手続きの間、生乳出荷できなかった場合はどうなりますか。 … 経営相続
- 問4 事業実施年度内に離農した酪農・肉用牛経営者に対して、交付金の交付は行われますか。 … 離農
- 問5 複合経営の場合、酪農、肉用牛どちらで申請をすればいいですか。 … 複合経営
- 問6 乳用育成農家は、事業に参加できますか。 … 乳用育成牛
- 問7 年度の途中で経営の種類（酪農経営・肉用牛経営）を変更する予定又は変更した場合、事業に参加できますか。 … 経営の分離
- 問8 同一経営者が、繁殖部門、肥育部門を分けて経営している場合は、繁殖部門のみで申請することは可能ですか。 … 肉用牛参加要件
- 問9 肉用牛経営で、出荷が年度末に予定されている場合は、出荷する前に交付申請をすることは可能ですか。 … 肉用牛参加要件

**【飼養頭数確認】**

- 問10 生乳出荷者名と牛個体識別管理者の登録者名は一致している必要がありますか。 … 牛個体識別管理者
- 問11 農場や畜舎が複数あり、個体識別管理者番号が複数ある場合は、どのように申請したら良いですか。 … 牛個体識別管理者

**【集団、組織】**

- 問12 酪農・肉用牛経営者組織として参加申込をしたが、一部の構成員が取組要件をクリアできなかった場合は、どうなりますか。 … TMRセンター

**II 飼料作物作付地****【飼料作物作付地】**

- 問13 飼料作物作付地が、複数の地方農政局等の管轄区域に跨っている場合は、どこの農政局に申請したら良いですか。 … 申請方法
- 問14 飼料作物の播種と収穫が年度をまたぐ場合、飼料作物作付けとして認め、面積をカウントできますか。 … 作付け時期
- 問15 永年生牧草の草地で春・夏は放牧を行い、同じ土地で秋に単年生牧草を播種して冬に収穫している場合、2期作の面積としてカウントが可能ですか。 … 2期作

### 【算入条件】

- 問16 農地以外の地目（宅地・山林等）であっても、飼料作物作付面積として算入できますか。 … 地目
- 問17 食用の小麦の収穫後に、秋冬作の飼料作物（イタリアンライグラス、飼料用エン麦等）を作付ける場合は、飼料作物作付地に該当しますか。 … 飼料作物

### 【契約栽培】

- 問18 水田活用の直接支払交付金の契約書（利用供給協定書）を耕種農家との契約栽培の契約書としても良いですか。 … 契約書

### 【面積の確認】

- 問19 面積の確認は、GPS、GIS及び航空写真を使ってもいいですか。 … 面積の確認方法
- 問20 農地基本台帳に記載された面積より実測面積が大きい場合は実測面積で参加申込をしてもいいですか。 … 面積の実測
- 問21 現地確認で、参加申込に記載された面積と実際の作付面積が異なっていた場合、どうしたら良いですか。 … 面積の修正
- 問22 農業委員会で整理している農地基本台帳等に記載されている土地の一部（分筆の一部）で飼料作物が作付けされている場合、面積の確認行為を行うには土地の実測が必要ですか。 … 分筆

## Ⅲ 取組内容

### 【基本1. 放牧の実施】

- 問23 酪農・肉用牛経営者間で預託する場合、預託先、預託元のどちらの取組としてカウントすればいいですか。 … 預託
- 問24 乳用牛の育成農家が、放牧の取組を行う場合、放牧日数は1頭当たり何日必要となりますか。 … 乳用育成牛
- 問25 乳用後継牛について、預託と自家育成の両方を行っている場合は、放牧対象牛はどのようになりますか。 … 放牧対象牛
- 問26 放牧について、乳用後継牛を預託する場合の放牧面積は、交付対象面積となりますか。 … 預託

### 【基本2. 飼料作物の不耕起栽培】

- 問27 1作目を収穫した後に2作目で不耕起栽培した場合も取組として認められますか。 … 取組面積
- 問28 「簡易更新」の方法に制限はありますか。 … 簡易更新
- 問29 前年の作物収穫後に耕起した場合、翌年度の取組メニューを不耕起栽培にすることは可能ですか。 … 時期

### 【基本3. 化学肥料利用量の削減】

- 問30 牧草からデントコーンに更新する場合は草地更新として認められますか。 … 草地更新

### 【特認1. 国産副産物の利用促進】

問31 不整形野菜については、農協等による共同選別集荷をしている耕種農家との契約ができないため、選果場から入手しても良いですか。 … 不整形野菜

### 【特認3. 農薬使用量の削減】

問37 「やむを得ず農薬を使用する場合」はどのようなことですか。 … 農薬使用条件

問38 散布する面積を減らすことで3割以上削減としてもいいですか。 … 削減方法

問39 無農薬栽培に取り組んでいる場合、慣行基準を確認する必要はありますか。 … 慣行基準

### 【特認4. 草地のピンポイント更新技術の活用】

問40 1番草の時期に植生解析（センシング）し、2番草を刈り取る前に、通常は牧草の全面積に追肥するが、植生解析により不足している部分に多めに施肥した場合、対象となりますか。 … 追加施肥

問41 2番草を刈り取った後に植生解析をし、追肥等を行うことは、草地のピンポイント更新技術の取組の対象となりますか。 … 取組時期

### 【有機飼料の生産】

問42 参加申込時は、JAS認証の申請中であり、年度内に認証取得予定の場合は交付対象となりますか。 … 有機JAS認証

問43 有機飼料生産の取組で、以下の場合、事業に参加できますか。 … 認証の取得者

【生産者①】  
有機飼料の認証を受けており、飼料作物を栽培している

【生産者②】  
生産者①の土地で放牧を行い、有機畜産の認証を受けている

## IV その他

問44 以下の場合、水田活用の直接支払い交付金と重複して受け取ることはできますか。 … 他の事業との重複

(1) 酪農・肉用牛経営者が自分の土地で転作した場合  
(2) 酪農・肉用牛経営者が耕種農家から作業を受託し転作した場合  
(3) 酪農・肉用牛経営者が耕種農家との契約栽培により飼料の供給を受けた場合